

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1
授業科目	ガソリンエンジン構造学 I
実務家教員授業	授業担当者：高野克浩、山本正樹、金田大作
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。
学部・学科	二級自動車整備学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	32.4時間
授業コマ数	18コマ
授業概要	ガソリンエンジンの構造を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	ガソリンエンジンの構造、機能を理解する
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会
特記	
授業計画	1 総論① 内燃機関 2 総論② 内燃機関分類 3 総論③ 4サイクルエンジン 4 エンジン本体① 概要 5 エンジン本体② シリンダヘッド 6 エンジン本体③ シリンダ及びシリンダ・ブロック 7 エンジン本体③ シリンダ及びシリンダ・ブロック 8 エンジン本体④ ピストン、ピストンピン 9 エンジン本体④ ピストン、ピストンピン 0.5 前期中間試験 10 エンジン本体④ ピストン、ピストンピン 11 エンジン本体④ ピストン、ピストンピン 12 エンジン本体⑤ クランクシャフト、フライホイール 13 エンジン本体⑤ クランクシャフト、フライホイール 14 エンジン本体⑤ クランクシャフト、フライホイール 15 エンジン本体⑥ バルブ機構 16 エンジン本体⑥ バルブ機構 17 エンジン本体⑥ バルブ機構 0.5 前期期末試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価
成績評価基準	優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容
科目番号	2
授業科目	ガソリンエンジン構造学Ⅱ
実務家教員授業	授業担当者：高野克浩、山本正樹、金田大作
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。
学部・学科	二級自動車整備学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	28.8時間
授業コマ数	16コマ
授業概要	ガソリンエンジンの構造を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	ガソリンエンジンの構造、機能を理解する
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会
特記	
授業計画	1 潤滑装置① オイルの循環 2 潤滑装置② オイルポンプ 3 潤滑装置③ オイルフィルター 4 潤滑装置④ オイルパン 5 冷却装置① 構造機能 6 冷却装置② ウォーターポンプ 7 冷却装置③ ラジエータ・サーモスタット 0.5 後期中間試験 8 冷却装置④ ファン・不凍液 9 燃料装置① 概要 10 燃料装置② インジェクタ 11 燃料装置③ フューエルポンプ 12 燃料装置④ フューエルタンク 13 吸排気装置① 概要 14 吸排気装置② 吸気装置 15 吸排気装置③ 排気装置 0.5 後期期末試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価
成績評価基準	優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	3	
授業科目	ジーゼルエンジン構造学	
実務家教員授業	授業担当者：高野克浩、山本正樹、金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	28.8時間	
授業コマ数	16コマ	
授業概要	ジーゼルエンジンの構造を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	ジーゼルエンジンの構造、機能を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	エンジン総論① 概要
	2	エンジン総論① 内燃機関
	3	エンジン総論② 作動・燃焼方式
	4	エンジン総論③ 燃焼状態・圧力の変化
	5	エンジン総論④ 排出ガス対応策
	6	エンジン総論⑤ 排出ガス浄化装置
	0.5	後期中間試験
	7	エンジン本体① 構造・機能
	8	エンジン本体② 潤滑装置
	9	エンジン本体③ 冷却装置
	10	燃料装置① 概要
	11	燃料装置① 機械式
	12	燃料装置① 機械式
	13	燃料装置② 電子制御式
	14	燃料装置③ コモンレール式
	15	燃料装置③ コモンレール式
	0.5	後期期末試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容
科目番号	4
授業科目	シャシ・車体構造学 I
実務家教員授業	授業担当者：高野克浩、山本正樹、金田大作
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。
学部・学科	二級自動車整備学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	32.4時間
授業コマ数	18コマ
授業概要	シャシの構造を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	シャシの構造、機能を理解する
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会
特記	
授業計画	1 動力伝達装置① 概要 2 動力伝達装置② クラッチ 3 動力伝達装置③ マニュアルトランスミッション 4 動力伝達装置③ マニュアルトランスミッション 5 動力伝達装置④ オートマチックトランスミッション 6 動力伝達装置⑤ プロペラシャフト 7 動力伝達装置⑥ ディファレンシャル 8 動力伝達装置⑦ LSD 0.5 前期中間試験 9 4輪駆動装置① トランスファ 10 4輪駆動装置② パートタイム4WD・フルタイム4WD 11 シャシスプリング① 12 シャシスプリング② 13 ショックアブソーバ・スタビライザ① 14 ショックアブソーバ・スタビライザ② 15 アクスル及びサスペンション① 概要 16 アクスル及びサスペンション② 車軸懸架式 17 アクスル及びサスペンション③ 独立懸架式 0.5 前期期末試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価
成績評価基準	優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	三級自動車シャシ

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容
科目番号	5
授業科目	シャシ・車体構造学Ⅱ
実務家教員授業	授業担当者：高野克浩、山本正樹、金田大作
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。
学部・学科	二級自動車整備学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	28.8時間
授業コマ数	16コマ
授業概要	シャシの構造を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	シャシの構造、機能を理解する
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会
特記	
授業計画	1 油圧式ブレーキ装置① 概要 2 油圧式ブレーキ装置② 性能・現象 3 油圧式ブレーキ装置③ 油圧式フットブレーキ 4 油圧式ブレーキ装置④ 制動倍力装置 5 油圧式ブレーキ装置⑤ Pブレーキ・補助ブレーキ 6 油圧式ブレーキ装置⑤ Pブレーキ・補助ブレーキ 0.5 前期中間試験 7 エア式ブレーキ装置① 8 エア式ブレーキ装置② 9 エア式ブレーキ装置③ 10 ABS装置① 概要・基本構成 11 ABS装置② 制御原理Ⅰ 12 ABS装置③ 制御原理Ⅱ 13 ABS装置④ 構成部品・作動 14 ABS装置⑤ 作動 15 ABS装置⑤ 作動 0.5 後期期末試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価
成績評価基準	優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	6
授業科目	電装品構造学 I
実務家教員授業	授業担当者：高野克浩、山本正樹、金田大作
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。
学部・学科	二級自動車整備学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	32.4時間
授業コマ数	18コマ
授業概要	電装品の構造を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	電装品の構造、機能を理解する
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会
特記	
授業計画	1 電気と磁気① 電子、電流、電圧、電流の三作用
	2 電気と磁気② 電源と起電力、直流と交流、電気抵抗
	3 電気と磁気③ 電気回路、電気図記号
	4 電気と磁気④ オームの法則①
	5 電気と磁気⑤ オームの法則②
	6 電気と磁気⑥ オームの法則③
	7 電気と磁気⑦ 磁気、磁界及び磁力線、磁束と磁束密度、磁界
	8 電気と磁気⑧ コイル、電磁力、電磁誘導
	0.5 前期期末試験
	9 半導体① 概要
	10 半導体① 概要、P型半導体及びN型半導体、ダイオード
	11 半導体② ツェナダイオード、発光ダイオード、フォトダイオード
	12 半導体③ トランジスタ、フォトトランジスタ、サーミスタ、IC
	13 バッテリー① 概要、構造
	14 バッテリー② 極板及び極板群、電槽、ふた、電解液
	15 バッテリー③ 機能 放電、充電、容量、自己放電
	16 バッテリー④ 形式
	17 バッテリー⑤ 整備
0.5 前期期末試験	
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価
成績評価基準	優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	三級自動車ガソリン

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容
科目番号	7
授業科目	電装品構造学Ⅱ
実務家教員授業	授業担当者：高野克浩、山本正樹、金田大作
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。
学部・学科	二級自動車整備学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	28.8時間
授業コマ数	16コマ
授業概要	電装品の構造を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	電装品の構造、機能を理解する
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会
特記	
授業計画	1 始動装置① 概要・特性 2 始動装置① 概要・特性 3 始動装置② 構造・作動 4 点火装置① 概要・点火装置種類 5 点火装置① 概要・点火装置種類 6 点火装置② スパークプラグ・ハイテンションコード 0.5 点火装置② スパークプラグ・ハイテンションコード 7 後期中間試験 8 充電装置① 概要 9 充電装置② 構造 10 充電装置② 構造 11 充電装置③ 制御Ⅰ 12 充電装置④ 制御Ⅱ 13 エアークンディショナー① 概要 14 エアークンディショナー② 構造 15 エアークンディショナー③ 作動 0.5 後期期末試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価
成績評価基準	優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容
科目番号	8
授業科目	自動車数学
実務家教員授業	授業担当者：高野克浩、山本正樹、金田大作
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。
学部・学科	二級自動車整備学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	21.6時間
授業コマ数	12コマ
授業概要	自動車に関する計算を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	計算方法を理解し、計算結果が出せるようになる
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会
特記	
授業計画	1 自動車数学① トルク 2 自動車数学② 変速比 3 自動車数学③ プーリ比 4 自動車数学④ 車速・駆動力 0.5 後期中間試験 5 自動車数学⑤ 平均速度・加速度 6 自動車数学⑤ 平均速度・加速度 7 自動車数学⑥ 燃費 8 自動車数学⑦ バルブリフト 9 自動車数学⑦ バルブリフト 10 自動車数学⑧ バルブタイミング 11 自動車数学⑧ バルブタイミング 0.5 後期期末試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価
成績評価基準	優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	9	
授業科目	製図	
実務家教員授業	授業担当者：高野克浩、山本正樹、金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	26.1時間	
授業コマ数	14.5コマ	
授業概要	図面の読み方及び書き方・各記号や線の理解	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	図面の理解・製図の習得	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	製図の基本① 概要・図形の投影方法
	2	製図の基本② 線の種類と用途・図形の配置
	3	製図の基本③ 寸法記入・寸法補助記号
	4	製図作業1①
	5	製図作業1②
	6	製図作業1③
	7	製図作業1④
	8	製図作業1⑤
	9	コンピュータを使用した製図作業①
	10	コンピュータを使用した製図作業②
	11	コンピュータを使用した製図作業③
	12	コンピュータを使用した製図作業④
	13	コンピュータを使用した製図作業⑤
	14	コンピュータを使用した製図作業⑥
	0.5	前期試験
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
成績評価基準	優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	10	
授業科目	整備作業機器	
実務家教員授業	授業担当者：高野克浩、山本正樹、金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	17.1時間	
授業コマ数	9.5コマ	
授業概要	整備作業機器の構造や取扱いを学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	整備作業機器の構造、機能を理解する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	自動車の機械要素 ねじ
	2	基本作業① スパナ、モンキレンチ、めがねレンチ、ソケットレンチ
	3	基本作業② ヘキサゴンレンチ、トルクレンチ、ドライバ
	4	基本作業③ ハンマ、プライヤ、ギャプーラ、ベアリングプーラ
	5	基本作業④ スライドハンマ、たがね、プレス、バイス
	6	基本作業⑤ やすり、弓のこ、リーマ、ベンチグラインダ
	7	基本作業⑥ ドリル、電動ドリル、卓上ボール盤
	8	基本作業⑦ タップ、ダイス
	9	基本作業⑦ エアー工具
	0.5	前期中間試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考	基礎自動車工学、基礎自動車整備作業	

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容
科目番号	11
授業科目	工業計測
実務家教員授業	授業担当者：高野克浩、山本正樹、金田大作
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。
学部・学科	二級自動車整備学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	17.1時間
授業コマ数	9.5コマ
授業概要	計測機器の構造や取扱いを学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	計測機器の構造、機能を理解する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 測定概要 S I 単位 2 測定作業① スケール、ノギス 3 測定作業② マイクロメータ 4 測定作業③ ダイヤルゲージ 5 測定作業④ シリンダゲージ 6 測定作業⑤ ダイヤルゲージ付きトースカン、シックネスゲージ 7 測定作業⑥ スパークプラグギャップゲージ、プラスチックゲージ 8 測定作業⑦ 定盤、Vブロック 9 測定作業⑧ スコヤ、ストレートエッジ 0.5 前期中間試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価
成績評価基準	優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	基礎自動車整備作業

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	12	
授業科目	基本実習自動車基礎	
実務家教員授業	授業担当者：高野克浩、山本正樹、金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	57.6時間	
授業コマ数	32コマ	
授業概要	自動車のリフト作業とブレーキ関係を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	自動車のリフト作業が出来、ブレーキ関係の整備を理解する。	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2~4	自動車の諸元・各部名称
	5~8	自動車に取り扱い
	9~12	ジャッキアップ作業
	13~16	リフト操作
	17~20	ジャッキアップ作業・リフト操作 作業チェック
	21~24	タイヤローテーション
	25~28	オイル交換作業
	29~32	日常点検
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの得点で評価	
成績評価基準	優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	13	
授業科目	基本実習工作作業	
実務家教員授業	授業担当者：高野克浩、山本正樹、金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	50.4時間	
授業コマ数	28コマ	
授業概要	工作道具、工具を使用し金属加工を行う	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	安全作業を身に着け、工作道具、工具を使用できるようになる。	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2~4	ケガキ作業
	5~8	やすり掛け作業
	9~12	穴あけ作業・仕上げ
	13~16	タップ・ダイス作業
	17~20	ダブルナットについて
	21~24	逆タップについて
	25~28	折れたねじの取り外し
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの得点で評価	
成績評価基準	優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	14	
授業科目	基本実習測定作業	
実務家教員授業	授業担当者：高野克浩、山本正樹、金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	50.4時間	
授業コマ数	28コマ	
授業概要	自動車の基本的な測定技術を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	自動車の基本的な測定技術を身に着ける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2~4	ノギス
	5~8	マイクロメータ
	9~12	ダイヤルゲージ
	13~16	シクネスゲージ
	17~20	シリンダゲージ
	21~24	プラスチックゲージ
	25~28	自動車部品測定
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの得点で評価	
成績評価基準	優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	15	
授業科目	基本実習エンジン I	
実務家教員授業	授業担当者：高野克浩、山本正樹、金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	57.6時間	
授業コマ数	32コマ	
授業概要	エンジンの分解組み付けを行いエンジンに関する整備方法を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	エンジンに関する整備方法を身に着ける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2~4	エンジン分解作業①
	5~8	エンジン分解作業②
	9~12	各部測定・機能確認・良否判定
	13~16	各部測定・機能確認・良否判定
	17~20	バルブすり合わせ作業・シリンダヘッド組み付け
	21~24	エンジン組付け
	25~28	エンジン組付け
	29~32	エンジン試運転
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの得点で評価	
成績評価基準	優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	16	
授業科目	基本実習エンジンⅡ	
実務家教員授業	授業担当者：高野克浩、山本正樹、金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	50.4時間	
授業コマ数	28コマ	
授業概要	自動車のエンジンに関する整備を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	自動車のエンジンに関する整備を身に着ける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2~4	シリンダヘッド取り外し
	5~8	シリンダヘッド取り外し
	9~12	シリンダヘッドヘッドOH
	13~16	シリンダヘッド取り付け
	17~20	シリンダヘッド取り付け
	21~24	冷却水エア抜き作業
	25~28	試運転
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの得点で評価	
成績評価基準	優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	17	
授業科目	基本実習シャシ I	
実務家教員授業	授業担当者：高野克浩、山本正樹、金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	57.6時間	
授業コマ数	32コマ	
授業概要	自動車のシャシ関係部品の分解、組付けを行う	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	シャシ関係の構造を理解し整備できるようになる	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2~4	トランスミッション取り外し
	5~8	クラッチ取り外し・測定、良否判定
	9~12	クラッチ取り付け、トランスミッション取り付け
	13~16	単体トランスミッション分解①・シンクロナイザ機構について (学)
	17~20	ギア比について・ギア比に関する計算
	21~24	単体トランスミッション①組み立て
	25~28	単体トランスミッション分解② 構造確認
	29~32	単体トランスミッション②組み立て
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの得点で評価	
成績評価基準	優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	18	
授業科目	基本実習シャシⅡ	
実務家教員授業	授業担当者：高野克浩、山本正樹、金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	50.4時間	
授業コマ数	28コマ	
授業概要	自動車のシャシ関係部品の分解、組付けを行う	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	シャシ関係の構造を理解し整備できるようになる	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2~4	ディファレンシャル取り外し
	5~8	プロペラシャフトについて
	9~12	ドライブシャフト取り外し、組み付け
	13~16	ディファレンシャル組み付け
	17~20	単体ディファレンシャル分解（歯当たり点検、バックラッシュ測定含）
	21~24	単体ディファレンシャル組み立て（歯当たり、バックラッシュ、プレロード調整含）
	25~28	単体ディファレンシャル組み立て（歯当たり、バックラッシュ、プレロード調整含）
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの得点で評価	
成績評価基準	優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	19	
授業科目	基本実習シャシⅢ	
実務家教員授業	授業担当者：高野克浩、山本正樹、金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	50.4時間	
授業コマ数	28コマ	
授業概要	自動車の法令点検について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	自動車の法令点検方法を身に着ける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2~4	ステアリング、ステアリングギヤボックス取り外し
	5~8	ステアリングギヤボックスの構造確認
	9~12	ステアリングギヤボックス取り付け
	13~16	サスペンション取り外し、分解
	17~20	ショックアブソーバ・アライメントについて
	21~24	サスペンション組付け
	25~28	アライメント作業確認試験
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの得点で評価	
成績評価基準	優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	20	
授業科目	基本実習シャシⅣ	
実務家教員授業	授業担当者：高野克浩、山本正樹、金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	50.4時間	
授業コマ数	28コマ	
授業概要	自動車の法令点検について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	自動車の法令点検方法を身に着ける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2~4	マスタシリンダについて (学) ・マスタシリンダ脱着・OH
	5~8	ドラムブレーキについて (学) ・ドラムブレーキ脱着・OH
	9~12	ディスクブレーキについて (学) ・ディスクブレーキ脱着・OH
	13~16	ブレーキにエア抜き作業
	17~20	ブレーキ装置関係点検要領
	21~24	真空式制動倍力装置について (学)
	25~28	パーキングブレーキについて・パーキングブレーキ調整
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの得点で評価	
成績評価基準	優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	21	
授業科目	基本実習電装 I	
実務家教員授業	授業担当者：高野克浩、山本正樹、金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	57.6時間	
授業コマ数	32コマ	
授業概要	テスターの組み立てと電気の測定方法を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	電気の測定が出来るようになる	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2~4	アナログサーキットテスタ作成
	5~8	電気の流れについて
	9~12	回路構成部品について
	13~16	回路の作成
	17~20	電気の計算・測定
	21~24	測定復習
	25~28	測定復習
	29~32	測定復習
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの得点で評価	
成績評価基準	優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	22	
授業科目	基本実習電装Ⅱ	
実務家教員授業	授業担当者：高野克浩、山本正樹、金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	50.4時間	
授業コマ数	28コマ	
授業概要	自動車電気装置の整備について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	自動車電気装置に関する整備が	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2~4	バッテリー 取り外し・ブースターケーブル
	5~8	バッテリー 構造 測定
	9~12	始動装置取り外し・スタータ分解
	13~16	スタータ構造確認・組付け
	17~20	充電装置取り外し オルタネータ分解
	21~24	オルタネータ構造確認・取り付け
	25~28	配線確認・電圧測定
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの得点で評価	
成績評価基準	優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	23	
授業科目	基本実習電装Ⅲ	
実務家教員授業	授業担当者：高野克浩、山本正樹、金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	50.4時間	
授業コマ数	28コマ	
授業概要	自動車の電気回路について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	自動車の電気回路を理解し測定が出来るようになる	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2～4	点火装置 取り外し 構造確認
	5～8	点火装置 取り付け
	9～12	車体電装 配線図①
	13～16	車体電装 配線図②
	17～20	車体電装 測定①
	21～24	車体電装 測定②
	25～28	車体電装 故障診断
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの得点で評価	
成績評価基準	優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	24	
授業科目	基本実習定期点検整備	
実務家教員授業	授業担当者：高野克浩、山本正樹、金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	57.6時間	
授業コマ数	32コマ	
授業概要	自動車の法令点検方法を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	自動車の法令点検が出来るようになる	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2~4	原動機関係①
	5~8	原動機関係②
	9~12	シャシー関係①
	13~16	シャシー関係①
	17~20	室内
	21~24	法令点検演習①
	25~28	法令点検演習②
	29~32	法令点検演習③
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの得点で評価	
成績評価基準	優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	25	
授業科目	基本実習二輪整備	
実務家教員授業	授業担当者：高野克浩、山本正樹、金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	50.4時間	
授業コマ数	28コマ	
授業概要	エンジン（2輪車）に関する整備と測定を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	エンジンの整備と測定が出来るようになる	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2~4	エンジン取り外し
	5~8	エンジン分解
	9~12	各部測定
	13~16	エンジン組付け
	17~20	エンジン取り付け
	21~24	各部調整
	25~28	試運転
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの得点で評価	
成績評価基準	優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	26	
授業科目	就職対策	
実務家教員授業	授業担当者：高野克浩、山本正樹、金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要なビジネススキルを身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	55.8時間	
授業コマ数	31コマ	
授業概要	就職に対する準備を行う	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	就職希望企業選定、履歴書作成、面接対応力修得	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	概要
	2	自己分析①
	3	自己分析②
	4	自己分析③
	5	学校長講話
	6	社会人基礎講座（企業連携）
	7	履歴書作成①
	8	履歴書作成②
	9	履歴書作成③
	10	面接指導①
	11	面接指導②
	12	面接指導③
	13~31	企業説明会
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
成績評価基準	優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	27	
授業科目	ガソリンエンジン整備法	
実務家教員授業	授業担当者：高野克浩、山本正樹、金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	36時間	
授業コマ数	20コマ	
授業概要	ガソリンエンジンに関する知識を身に着ける	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	ガソリンエンジンの構造と故障診断が出来るようになる	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	電子制御式燃料噴射装置① 概要
	2	電子制御式燃料噴射装置② 燃料系統
	3	電子制御式燃料噴射装置③ インジェクタ
	4	電子制御式燃料噴射装置④ 吸気系統
	5	電子制御式燃料噴射装置⑤ スロットルボデー
	6	電子制御式燃料噴射装置⑥ I S C V
	7	電子制御式燃料噴射装置⑦ 電子制御式スロットルボデー
	8	電子制御式燃料噴射装置⑧ 制御系統 センサ I
	9	電子制御式燃料噴射装置⑧ 制御系統 センサ I
	10	電子制御式燃料噴射装置⑨ 制御系統 センサ II
	11	電子制御式燃料噴射装置⑨ 制御系統 センサ II
	12	電子制御式燃料噴射装置⑨ 制御系統 センサ II
	0.5	前期中間試験
	13	電子制御式燃料噴射装置⑩ 制御系統 噴射制御 I
	14	電子制御式燃料噴射装置⑩ 制御系統 噴射制御 I
	15	電子制御式燃料噴射装置⑪ 制御系統 噴射制御 II
	16	電子制御式燃料噴射装置⑪ 制御系統 噴射制御 II
	17	電子制御式燃料噴射装置⑪ 制御系統 噴射制御 II
	18	電子制御式燃料噴射装置⑫ 制御系統 噴射制御 III
	19	電子制御式燃料噴射装置⑫ 制御系統 噴射制御 III
	0.5	後期期末試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容
科目番号	28
授業科目	ジーゼルエンジン整備法
実務家教員授業	授業担当者：高野克浩、山本正樹、金田大作
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。
学部・学科	二級自動車整備学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	32.4時間
授業コマ数	18コマ
授業概要	ジーゼルエンジンに関する知識を身に着ける
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	ジーゼルエンジンの構造と故障診断が出来るようになる
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会
特記	
授業計画	1 機械式燃料装置① 概要
	2 機械式燃料装置② 列型インジェクション・ポンプ
	3 機械式燃料装置② 列型インジェクション・ポンプ
	4 機械式燃料装置③ 分配型インジェクションポンプ
	5 機械式燃料装置③ 分配型インジェクションポンプ
	6 機械式燃料装置④ プランジャ作動・制御
	7 機械式燃料装置④ プランジャ作動・制御
	8 機械式燃料装置⑤ タイマ・ガバナ・フィードポンプ
	9 機械式燃料装置⑤ タイマ・ガバナ・フィードポンプ
	10 機械式燃料装置⑥ スロットルノズル
	0.5 前期中間試験
	11 コモンレール式燃料噴射装置① 概要
	12 コモンレール式燃料噴射装置② 構造・機能
	13 コモンレール式燃料噴射装置③ サプライポンプの作動
	14 コモンレール式燃料噴射装置④ コモンレール
	15 コモンレール式燃料噴射装置⑤ インジェクタの作動
	16 コモンレール式燃料噴射装置⑥ センサⅠ
	17 コモンレール式燃料噴射装置⑦ センサⅡ
0.5 前期期末試験	
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価
成績評価基準	優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容
科目番号	29
授業科目	シャシ・車体整備法
実務家教員授業	授業担当者：高野克浩、山本正樹、金田大作
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。
学部・学科	二級自動車整備学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	43.2時間
授業コマ数	24コマ
授業概要	車体整備に関する知識を身に着ける
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	車体の構造理解と故障診断が出来るようになる
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会
特記	
授業計画	1 ホイール① 概要・基本構造 2 ホイール② 種類・規格・取り付け 3 タイヤ① 基本構造・トレッドパターン 4 タイヤ② 諸元・構造や用途によるタイヤの分類 5 タイヤ③ 諸特性 たわみ・緩衝作用・転がり抵抗・発熱 6 タイヤ④ 諸特性 振動・騒音・偏摩耗 7 フレームとボデー① 概要 8 フレームとボデー② フレーム付きボデー 9 フレームとボデー③ モノコック・ボデー 10 フレームとボデー④ 分野別問題 11 ボデー外装① フード・ドア 12 ボデー外装② 分野別問題 0.5 前期中間試験 13 サスペンションの性能① 振動・乗り心地 14 サスペンションの性能② ボデー振動 15 ホイール・アライメント① 概要 16 ホイール・アライメント② キャンバ 17 ホイール・アライメント③ キングピン傾斜角 18 ホイール・アライメント④ キャスタ 19 ホイール・アライメント⑤ トー・イン、ターニングラジアス 20 ホイール・アライメント⑥ 4輪アライメント 21 アクティブ・コントロール・サスペンション 構造・機能 22 エア・サスペンション① 概要 23 エア・サスペンション② 構造 0.5 前期期末試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価
成績評価基準	優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	30	
授業科目	電装品整備法	
実務家教員授業	授業担当者：高野克浩、山本正樹、金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	30.6時間	
授業コマ数	17コマ	
授業概要	自動車電気装置に関する知識を身に着ける	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	自動車電気装置の構造理解と故障診断が出来るようになる	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	ボデー電装品① 概要
	2	ボデー電装品② ヘッドランプ
	3	ボデー電装品③ 車幅灯・尾灯・番号灯・後退灯
	4	ボデー電装品④ ストップ・ランプ・方向指示器・ホーン
	5	ボデー電装品⑤ ワイパ・ウォッシャー
	6	ボデー電装品⑥ イモビライザ・キーレスシステム
	7	計器① 概要
	8	計器② 速度指示器・距離計
	0.5	前期中間試験
	9	計器③ 各種ゲージ機構
	10	計器④ 燃料計
	11	計器⑤ 水温計
	12	計器⑥ 油圧計
	13	計器⑦ エンジン回転計
	14	計器⑧ 各種警報装置
	15	予熱装置①
	16	予熱装置②
0.5	前期期末試験	
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	31	
授業科目	自動車エレクトロニクス	
実務家教員授業	授業担当者：高野克浩、山本正樹、金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	27時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	電気電子について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	電気の性質を理解する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	自動車電子概論
	2	抵抗の性質
	3	消費電力と発熱量
	4	電流の化学作用
	5	電流による磁界
	6	電磁誘導
	0.5	後期中間試験
	7	直流回路
	8	交流回路
	9	半導体①
	10	半導体①
	11	論理回路①
	12	論理回路②
	13	論理回路③
	14	論理回路④
	0.5	前期期末試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	32
授業科目	自動車工学 I
実務家教員授業	授業担当者：高野克浩、山本正樹、金田大作
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。
学部・学科	二級自動車整備学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	17.1時間
授業コマ数	9.5コマ
授業概要	自動車に関する工学を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	自動車に関する工学を理解し、計算できるようになる
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会
特記	
授業計画	1 基礎的な原理と法則① オームの法則 2 基礎的な原理と法則② 電力・磁力・電磁力 3 自動車諸元① 寸法・排気量・圧縮比 4 自動車諸元② 変速比・駆動力 5 自動車諸元② 変速比・駆動力 6 自動車諸元③ 走行抵抗 I 7 自動車諸元④ 走行抵抗 II 8 自動車諸元③ 走行性能曲線図 9 自動車諸元④ 走行性能曲線図 0.5 前期試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価
成績評価基準	優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	33	
授業科目	自動車工学Ⅱ	
実務家教員授業	授業担当者：高野克浩、山本正樹、金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	13.5時間	
授業コマ数	7.5コマ	
授業概要	自動車に関する工学を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	自動車に関する工学を理解し、計算できるようになる	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	基礎工学① 重心Ⅰ
	2	基礎工学② 重心Ⅱ
	3	基礎工学③ 軸重Ⅰ
	4	基礎工学④ 軸重Ⅱ
	5	基礎工学④ 軸重Ⅱ
	6	基礎工学⑤ 軸重Ⅲ
	7	基礎工学⑤ 軸重Ⅲ
	0.5	前期試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	34	
授業科目	自動車材料	
実務家教員授業	授業担当者：高野克浩、山本正樹、金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	13.5時間	
授業コマ数	7.5コマ	
授業概要	自動車の材料に関する内容を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	自動車の材料に関する内容を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	概要
	2	材料① 化学記号
	3	材料② 金属の性質
	4	材料③ 非鉄金属
	5	材料③ 非鉄金属
	6	材料④ プラスチック
	7	材料⑥ ガラス
	0.5	後期中間試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	35	
授業科目	燃料と油脂	
実務家教員授業	授業担当者：高野克浩、山本正樹、金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	13.5時間	
授業コマ数	7.5コマ	
授業概要	自動車の燃料、油脂に関する内容を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	自動車の燃料、油脂に関する内容を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	概要
	2	燃料① 精製方法
	3	燃料② 特性
	4	燃料③ 用途
	5	油脂① 種類
	6	油脂② 粘度
	7	油脂③ 性質
	0.5	後期中間試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	36	
授業科目	自動車と環境問題	
実務家教員授業	授業担当者：高野克浩、山本正樹、金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	17.1時間	
授業コマ数	9.5コマ	
授業概要	自動車に関する環境対策を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	自動車に関する環境対策を理解する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
	1	概要
	2	地球の環境問題① オゾン層の破壊
	3	地球の環境問題② 地球温暖化
	4	自動車の環境に関する法律
	5	自動車環境対策① ハイブリッド
	6	自動車環境対策① ハイブリッド
	7	自動車環境対策① ハイブリッド
	8	自動車環境対策② 3R
	9	自動車環境対策② 3R
	0.5	後期試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	37	
授業科目	特殊機構	
実務家教員授業	授業担当者：高野克浩、山本正樹、金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	18.9時間	
授業コマ数	10.5コマ	
授業概要	自動車に用いられる特殊装置を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	自動車に用いられる特殊装置を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
	1	特殊エンジン① ロータリエンジン
	2	特殊エンジン① ロータリエンジン
	3	特殊エンジン② アトキンソンサイクル
	4	過給装置① ターボチャージャー
	5	過給装置② スーパーチャージャー
	6	可変吸気装置①
	7	可変吸気装置①
	8	可変バルブタイミング①
	9	可変バルブタイミング②
	10	可変バルブタイミング③
	0.5	後期試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	38	
授業科目	自動車関係法令	
実務家教員授業	授業担当者：高野克浩、山本正樹、金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	22.5時間	
授業コマ数	12.5コマ	
授業概要	自動車に関する法律を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	自動車に関する法律を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
	1	概要 道路運送車両法
	2	自動車の種類
	3	登録制度
	4	保安基準
	5	点検整備制度① 乗用車
	6	点検整備制度① 乗用車
	7	点検整備制度② 貨物車
	8	点検整備制度② 貨物車
	9	検査制度①
	10	検査制度②
	11	認証制度
	12	指定制度
	0.5	後期試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	39	
授業科目	自動車検査	
実務家教員授業	授業担当者：高野克浩、山本正樹、金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	22.5時間	
授業コマ数	12.5コマ	
授業概要	自動車に関する法律を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	自動車に関する法律を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
	1	概要 道路運送車両法の保安基準
	2	自動車の構造
	3	自動車の装置① 原動機
	4	自動車の装置② 車体関係
	5	自動車の装置② 車体関係
	6	自動車の装置③ 公害防止装置
	7	自動車の装置③ 公害防止装置
	8	自動車の装置④ 灯火関係
	9	自動車の装置④ 灯火関係
	10	自動車の装置⑤ 運転装置
	11	自動車の装置⑤ 運転装置
	12	緊急車両等
	0.5	後期試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	40	
授業科目	故障診断学ガソリン	
実務家教員授業	授業担当者：高野克浩、山本正樹、金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	22.5時間	
授業コマ数	12.5コマ	
授業概要	ガソリンエンジンに関する整備士試験の演習問題を解く	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	ガソリンエンジンに関する整備士試験内容を理解する	
教科書	実践問題集	
特記		
授業計画	1	分野別問題集① エンジン本体
	2	分野別問題集② エンジン本体
	3	分野別問題集③ エンジン本体
	4	分野別問題集④ エンジン本体
	5	分野別問題集⑤ エンジン本体
	6	分野別問題集⑥ エンジン本体
	7	分野別問題集⑦ 潤滑装置
	8	分野別問題集⑧ 冷却装置
	9	分野別問題集⑨ 吸気装置
	10	分野別問題集⑩ 排気装置
	11	分野別問題集⑪ 排気ガス浄化装置
	12	分野別問題集⑫ 排気ガス
	0.5	後期中間試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	41	
授業科目	故障診断学ジーゼル	
実務家教員授業	授業担当者：高野克浩、山本正樹、金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	20.7時間	
授業コマ数	11.5コマ	
授業概要	ジーゼルエンジンに関する整備士試験の演習問題を解く	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	ジーゼルエンジンに関する整備士試験内容を理解する	
教科書	実践問題集	
特記		
授業計画	1	分野別問題集① エンジン本体
	2	分野別問題集② 潤滑装置
	3	分野別問題集③ 冷却装置
	4	分野別問題集④ 燃料装置
	5	分野別問題集⑤ 燃料装置
	6	分野別問題集⑥ 燃料装置
	7	分野別問題集⑦ 電子制御
	8	分野別問題集⑧ 電子制御
	9	分野別問題集⑨ 吸排気装置
	10	分野別問題集⑩ 燃焼
	11	分野別問題集⑪ 故障探求
	0.5	後期期末試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	42	
授業科目	故障診断学シヤシ	
実務家教員授業	授業担当者：高野克浩、山本正樹、金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	18.9時間	
授業コマ数	10.5コマ	
授業概要	シヤシに関する整備士試験の演習問題を解く	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	シヤシに関する整備士試験内容を理解する	
教科書	実践問題集	
特記		
授業計画	1	分野別問題集① 動力伝達装置
	2	分野別問題集② 動力伝達装置
	3	分野別問題集③ 動力伝達装置
	4	分野別問題集④ サスペンション
	5	分野別問題集⑤ サスペンション
	6	分野別問題集⑥ ステアリング装置
	7	分野別問題集⑦ ホイール・タイヤ
	8	分野別問題集⑧ アライメント
	9	分野別問題集⑨ ブレーキ装置
	10	分野別問題集⑩ ブレーキ装置
	0.5	後期期末試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	43	
授業科目	故障診断学電装	
実務家教員授業	授業担当者：高野克浩、山本正樹、金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	17.1時間	
授業コマ数	9.5コマ	
授業概要	自動車電気装置に関する整備士試験の演習問題を解く	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	自動車電気装置に関する整備士試験内容を理解する	
教科書	実践問題集	
特記		
授業計画	1	分野別問題集① バッテリ
	2	分野別問題集② スタータ
	3	分野別問題集③ 充電装置
	4	分野別問題集④ 余熱装置
	5	分野別問題集⑤ 計器
	6	分野別問題集⑥ 灯火装置
	7	分野別問題集⑦ 冷房装置
	8	分野別問題集⑧ 冷媒
	9	分野別問題集⑨ 安全装置 SRSエアバッグ
	0.5	後期期末試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	44	
授業科目	応用実習エンジン I	
実務家教員授業	授業担当者：高野克浩、山本正樹、金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	50.4時間	
授業コマ数	28コマ	
授業概要	ジーゼルエンジンについて学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	ジーゼルエンジンの仕組みを理解し整備方法を身に着ける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2~13	ジーゼルエンジン分解
	14~15	ジーゼルエンジン構造
	11~16	ジーゼルエンジン組付け
	17~18	コモンレールについて
	19~20	余熱装置について
	21~26	噴射ポンプ構造
	27~28	トラック整備
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの得点で評価	
成績評価基準	優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	45	
授業科目	応用実習エンジンⅡ	
実務家教員授業	授業担当者：高野克浩、山本正樹、金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	50.4時間	
授業コマ数	28コマ	
授業概要	エンジンの制御を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	エンジンの制御を理解し、故障診断が出来るようになる。	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2~4	電子制御式燃料噴射装置について
	5~8	フューエルポンプについて
	9~12	サーキットオープングリレーについて・プレッシャレギュレータについて
	13~16	温度センサ、吸入空気量センサ
	17~20	スロットルポジションセンサ
	21~24	各センサの特性と理解する
	25~28	故障診断
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの得点で評価	
成績評価基準	優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	46	
授業科目	応用実習エンジンⅢ	
実務家教員授業	授業担当者：高野克浩、山本正樹、金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	57.6時間	
授業コマ数	32コマ	
授業概要	自動車の電子制御を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	オシロスコープを用いた測定と故障診断が出来るようになる	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2~4	回転センサ
	5~8	排気ガスセンサ
	9~12	アクチュエータについて
	13~16	インジェクタ
	17~20	点火装置（イグナイタ）
	21~24	オシロスコープ・外部診断機による測定
	25~28	故障診断1
	29~32	故障診断2
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの得点で評価	
成績評価基準	優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	47	
授業科目	応用実習電装 I	
実務家教員授業	授業担当者：高野克浩、山本正樹、金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	50.4時間	
授業コマ数	28コマ	
授業概要	自動車の電気装置について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	デジタルテスタを使用して電気装置の測定と故障診断が出来るようになる	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2~4	デジタルテスタ作成
	5~8	配線図見方復習
	9~12	パワーウィンドウ回路
	13~16	ワイパー回路
	17~20	ドアロック
	21~24	オーディオ
	25~28	故障診断
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの得点で評価	
成績評価基準	優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	48	
授業科目	応用実習電装Ⅱ	
実務家教員授業	授業担当者：高野克浩、山本正樹、金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	50.4時間	
授業コマ数	28コマ	
授業概要	自動車の電気装置について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	電子回路の理解とエアコンデショナーにの整備を習得する	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2~4	電子回路① 回路
	5~8	電子回路② 半導体・コンデンサ
	9~12	電子回路③ IC
	13~16	エアーバッグ取り外し、取り付け
	17~20	エアーコンデショナーの取り外し
	21~24	エアーコンデショナーの構造確認
	25~28	エアーコンデショナーの取り付け
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの得点で評価	
成績評価基準	優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	49	
授業科目	応用実習シヤシ I	
実務家教員授業	授業担当者：高野克浩、山本正樹、金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	50.4時間	
授業コマ数	28コマ	
授業概要	トランスミッションについて学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	オートマチックトランスミッションについて構造を理解する。	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2~4	オートマチックトランスミッション分解
	5~8	オートマチックトランスミッション分解
	9~12	オートマチックトランスミッション 構造理解
	13~16	オートマチックトランスミッション 構造理解
	17~20	オートマチックトランスミッション 組付け
	21~24	オートマチックトランスミッション 組付け
	25~28	CVTについて
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	50	
授業科目	応用実習シヤシⅡ	
実務家教員授業	授業担当者：高野克浩、山本正樹、金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	57.6時間	
授業コマ数	32コマ	
授業概要	2輪車の整備について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	2輪車整備方法を習得する。	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2~4	2輪車の取り扱い
	5~8	サスペンション (フロント)
	9~12	サスペンション (フロント)
	13~16	サスペンション (リヤ)
	17~20	エンジン整備①
	21~24	エンジン整備②
	25~28	エンジン整備③
	29~32	エンジン整備④
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	51	
授業科目	応用実習自動車検査	
実務家教員授業	授業担当者：高野克浩、山本正樹、金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	57.6時間	
授業コマ数	32コマ	
授業概要	自動車の法令点検を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	自動車の法令点検整備と自動車検査が出来るようになる	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2~4	12ヶ月定期点検復習
	5~8	24ヶ月定期点検（乗用）
	9~12	24ヶ月定期点検（乗用）
	13~16	12ヶ月定期点検（貨物）
	17~20	24ヶ月定期点検（貨物）
	21~24	24ヶ月定期点検（貨物）
	25~28	自動車検査作業（テスター）
29~32	自動車検査作業（テスター）	
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの得点で評価	
成績評価基準	優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	52	
授業科目	応用実習総合診断	
実務家教員授業	授業担当者：高野克浩、山本正樹、金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	57.6時間	
授業コマ数	32コマ	
授業概要	自動車整備士の総合的な技術を学ぶ	
授業の進め方	有識者の指導を基にグループワークなどを通じ、実践的知識の習得	
達成目標	新人の自動車整備士として働ける技術レベルになる	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2~4	測定技術
	5~8	エンジン整備技術
	9~12	シャシー整備技術
	13~16	故障診断技術①
	17~20	故障診断技術②
	21~24	法令点検技術①
	25~28	法令点検技術②
	29~32	接客対応技術
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの得点で評価	
成績評価基準	優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	53	
授業科目	Excel	
実務家教員授業	授業担当者：高野克浩、山本正樹、金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要なPCスキルを身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	14.4時間	
授業コマ数	8コマ	
授業概要	表計算ソフトの使用方法を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	EXCELを使用できるようになる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ワークシート、ブックの作成について
	2	セルのデータ管理について
	3	数式・関数について①
	4	数式・関数について②
	5	グラフの作成
	6	課題①
	7	課題②
	8	課題③
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
成績評価基準	優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		